

子ども教育学科

Faculty of Childhood Education

受験生へのメッセージ

将来子どもにかかわる専門職に就くことを希望している人が多いかと思います。この仕事の何よりの楽しさは一人ひとりの子どもの特長や素晴らしさに気づけることです。そのためにもいろいろな経験を積んで、偏りのない広い心を養っておいてください。

Q 学生との思い出、うれしかったことは？

夢に向かって一生懸命がんばったけど教員採用試験に合格せずに涙した学生が、絶対に先生になりたいという夢を決して諦めずに、臨採教師を続けながら受験にチャレンジして「受かりましたよ！」と連絡をくれる時。苦労は必ず報われます。いい先生になれます。

Q 都市学園大学の教員でよかったなあと思うところは？

新しくて綺麗な施設・設備が整った環境で授業や研究ができること。研究室は広くて快適なので仕事の効率もアップ。ゼミ生をはじめ学生さん達も広くゆったりしたスペースに安心して、気兼ねなく立ち寄ってくれます。

“授業紹介”

「保育内容（健康・表現）」

「初等体育教育法」

「保育内容（健康・表現）」や「初等体育科教育法」では、楽しく、そして力もしっかりつく運動あそびの指導や体育の授業づくりについて学びます。領域と対象年齢を決めて保育・学習指導案を作成し、それに基づいた模擬保育・授業を実施しています。なかでも評価活動の難しさ大切さに気付けることを特に重視しています。

学部長

教授：修士（教育学）

林 俊雄

ハヤシ トシオ

担当科目

初等体育、保育内容（健康I）、
保育表現技術I、保育内容（健康II）、
保育内容（表現II）、
初等体育科教育法、特別研究I、
卒業研究

問い合わせ先

hayat@hcu.ac.jp

保育士、教師をめざす人へのメッセージ

子ども時代は自分のやりたいことに
ゆっくり・どっぷりつかることが何よりも大切な時期だと思います。その子なりの特長に合わせて適切に支援し、できうるかぎりの発達を保障することが保育・教育という仕事です。こうした仕事をする保育士や教師にとって最も大切な資質・能力は「聴き取る（なぜそれが言いたいか、何を望んでいるのか）力」だと確信するようになりました。「じょうぶなあたまとかしこいからだ」（五味太郎）の子どもたちに育てるために、保育・教育について一緒に学んでいきましょう。

林 俊雄

ハヤシ トシオ

Toshio Hayashi

子ども教育学部 子ども教育学科 特任教授

学歴・学位

昭和 57 年 3 月 広島大学学校教育学部小学校教員養成課程 卒業

平成 5 年 3 月 広島大学学校教育研究科修士課程保健体育専攻 修了

主要職歴

昭和 57 年 4 月～平成 15 年 3 月	広島大学附属小学校 教諭
平成 15 年 4 月～平成 18 年 3 月	広島大学附属小学校 副校長
平成 18 年 4 月～平成 21 年 3 月	九州女子大学人間科学部人間発達学科 講師
平成 21 年 4 月～平成 26 年 3 月	梅光学院大学子ども学部子ども未来学科 准教授
平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月	梅光学院大学子ども学部子ども未来学科 教授
平成 27 年 4 月～令和 7 年 3 月	広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 教授
令和 7 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 特任教授

専門分野

体育科教育学

主な担当科目

初等体育科教育法、初等体育、保育内容（健康Ⅰ）、保育内容（表現Ⅱ）、幼児と健康、スポーツ倫理・原理（スポーツ法含む）、体育方法学・実習（アダプテッドスポーツ）

研究テーマ

- 異質共同の学習集団による「かかわり合い、わかる、できる」体育の授業づくりのあり方
- 体育授業や運動遊び指導における指導と評価の一体化をめざした教師の働きかけ・支援活動のあり方
- 多様性、公平性、包摂性を保障するスポーツ・運動文化のあり方

ひとこと

体育・スポーツ、運動遊びは、子どもたちの健全な発達にとって欠かすことのできない文化です。子どもの発達に寄り添うとともに、発達段階に合わせて誰もが楽しめる教材づくり・教材化の力を高めていきましょう。

その他(所属学会・団体)

日本スポーツ・健康学会、日本体育科教育学会、日本教科教育学会

研究活動

学術論文

- 1) 体育授業における間接的指導としての評価活動(単) 学校教育(広島大学附属小学校学校教育研究会) 第1088号 pp.54-57 2008年3月
- 2) 「わかる・できる」体育授業と教師の指導制について(単) 学校教育(広島大学附属小学校学校教育研究会) 第1111号 pp.32-35 2010年2月
- 3) 子どもが自覚的に習得できる学習規律の指導(単) 体育科教育(大修館書店) 第58巻5号 pp.48-51 2010年4月
- 4) 学習規律は間接的指導による自覚的習得こそ(単) たのしい体育・スポーツ(学校体育研究同志会) 第245号 pp.12-15 2010年11月
- 5) 障害者スポーツ・パラリンピックから何をどう教えるか(単) たのしい体育・スポーツ(学校体育研究同志会) 第260号 pp.14-17 2012年4月
- 6) 体育における教材・教具史に学ぶ(単) 体育科教育(大修館書店) 第60巻6号 pp.16-19 2012年6月
- 7) 教科内容を明確にした体育科の授業構成のあり方について(単) 学校教育(広島大学附属小学校学校教育研究会) 第1147号 pp.32-37 2013年2月
- 8) サッカーの教材史を辿る(単) 体育科教育(大修館書店) 第62巻10号 pp.14-18 2014年10月
- 9) 異質協同の学習集団による「わかる・できる」体育を求め続けて たのしい体育・スポーツ(学校体育研究同志会) 第288号 pp.22-27 2015年1月
- 10) 授業の力量形成に関するライフヒストリー研究-A氏の体育授業を中心に-(共) [木原成一郎、林俊雄、大後戸一樹]学校教育実践学研究(広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター) 第22巻 PP.217-227 2016年3月
- 11) 授業の力量形成に関するライフヒストリー研究(その2)-A氏の体育の「授業スタイル」を中心に-(共) [木原成一郎、林俊雄、大後戸一樹]学校教育実践学研究(広島大学大学院教育学研究科附属教育実践総合センター) 第23巻 PP.81-91 2017年3月
- 12) 指導の充実につながる多様な評価活動に向けて～私の実践史から～(単) たのしい体育・スポーツ 学校体育研究同志会 第308号 pp.6-7 2018年夏号 その他

学会発表

- 1) 新学習指導要領における学習内容について(教科教育の立場から)(単) 九州体育・スポーツ学会 第57回大会(久留米大学) 第3分科会シンポジウム「新学習指導要領と教育内容および方法-幼児教育、学習内容、学習方法から迫る」におけるシンポジストとして口頭発表 2008年9月
- 2) 体育授業の力量形成に関するライフヒストリー研究(共) [木原成一郎、林俊雄] 日本体育学会第66回大会口頭発表 2015年8月26日

著書

- 1) みんなが輝く体育④小学校高学年体育の授業(共) [岨和正、森敏生他12名] 創文企画 2007年8月
- 2) 小学校教員をめざして～教育実習の基礎基本～(共) [中村重太、中谷雅彦他22名] ぎょうせい 2008年5月
- 3) 新版 初等体育教育の研究(共) [徳永隆治、木原成一郎他7名] 学術図書出版 2010年3月
- 4) 幼稚園・保育所・施設実習完全ガイド(共) [太田光洋、伊豆千栄美他10名] ミネルヴァ書房 2012年4月
- 5) 体育授業を学び続ける～教師の成長物語～(共) [木原成一郎、徳永隆治、村井潤他8名] 創文企画 2015年4月
- 6) スポーツの主人公を育てる体育・保健の授業づくり(共) [石田智己、伊藤嘉人他23名] 創文企画 2018年3月

7) 小学校体育専科教師の授業力量形成に関するライフヒストリー研究[木原成一郎他 3 名]創文企画
2022 年 10 月